



報道関係各位

2012年3月7日

フェラーリ・ジャパン

Press Release

ジュネーブ・モーターショーで2つの新型モデルがワールド・プレミア

フェラーリ新世代V12モデル「F12 ベルリネッタ」 軽量でよりパワフルな新バージョン「フェラーリ・カリフォルニア」

排出ガス削減と燃費を30%向上させた フェラーリの新たなラインナップが完成

2012年3月6日、スイス・ジュネーブ発 フェラーリは、第82回ジュネーブ・モーターショーにおいて、新世代V12気筒モデルとなる「F12 ベルリネッタ」と、ローンチ後の継続的な開発により、さらなる軽量化と出力増を実現した「フェラーリ・カリフォルニア」の2つの新型モデルを世界初公開しました。なお、この新バージョンの「カリフォルニア」は、「ハンドリング・スペチアーレ」というオプション・パッケージも開発しています。

「F12 ベルリネッタ」の登場により、12気筒モデル、8気筒モデルの新世代ラインナップが完成し、フェラーリが「嗜好の異なるフェリスタのために、異なるフェラーリを提供する」という目標を掲げ、過去4年間にわたって取り組んできたことが具現化されたといえます。かつてないほどの出力増を果たしたこれらの新型モデルは、効率化を図ることで、燃費と排出ガス削減の30%向上を実現しています。これは、エンジン、エアロダイナミクス、タイヤ、ブレーキ、その他付属物など、車輛を構成するあらゆる面において、徹底的な研究を通じて達成したものです。

フェラーリ・ブースに展示されている、「ロツツ・ベルリネッタ」と「アルミニウム」という2つの新色をボディに纏った「F12 ベルリネッタ」は、フェラーリがこれまでに発表したモデルの中でも最もパワフルでハイパフォーマンスなロードゴーイング・フェラーリです。新型V12エンジンを搭載し、進化したトランスアクスル構造と、最先端技術のコンポーネントや制御システムを備えています。「F12 ベルリネッタ」はエアロダイナミクスにも磨きかけられ、革新的なデザインで究極のパフォーマンスを発揮するという伝統的なフェラーリのテーマを再定義するものに仕上がっています。



「F12 ベルリネッタ」のホイールベースは短縮され、エンジンやダッシュボード、シートなどはシャシーの低い位置に配置されています。新型のサスペンションとギアボックスのレイアウトにより車輪後部もコンパクトになり、その結果、従来型のV12クーペ・モデルと比較して、全長が短く、車幅が狭く、車高が低くなりました。「F12 ベルリネッタ」は重心も低く、リアへの重量配分は理想的な54%と、後方寄りとなっています。

「F12 ベルリネッタ」のスペースフレーム・シャシーとボディシェルはまったくの新設計で、12種類の異なるアルミニウム合金が使用されています。その中には自動車部材としては初めて採用されたものもあります。これに合わせて、製造には新しい組み立て手法、接合技術も導入されました。そして、車輪重量は1,525kgに抑えられ、20%向上させたねじれ剛性と相まって、最大限の性能効率を得るに至りました。

200バールという高圧の直噴6,262 cc 65度角V12エンジンは、自然吸気12気筒エンジンとして前例のないパフォーマンスを発揮します。最高出力740 CV / 8,250 rpm、1リッター当たり出力118 CV、最大回転数8,700 rpmと、このタイプのエンジンとして記録的な数値に達しています。最大トルクは690 Nmで、その80%が2,500 rpmという低回転域から発生させることで、優れたレスポンスとパワフルな加速を約束します。

燃料消費は15 リッター/100km、CO₂排出量は350 g/kmと30%削減しており、「F12 ベルリネッタ」はこのセグメント最高の数値を達成しています。

エアロダイナミクスは重要な役割を果たしており、「F12 ベルリネッタ」のスタイリングには多数の革新的なソリューションが慎重に統合されています。その中には、新開発のボンネットを使ってダウンフォースを発生させるエアロ・ブリッジやブレーキ冷却エア・インテークが高温下でのみ開くアクティブ・ブレーキ・クーリングの2つのソリューションが含まれます。これらの革新技術の組み合わせによって「F12 ベルリネッタ」のダウンフォースは時速200 kmで123 kg、Cd値は0.299と、歴代フェラーリ・モデルにおいて全体的に最も優れた空気力学的効率1.2を誇ります（「599」の2倍）。フェラーリ・スタイリング・センターとピニンファリーナのコラボレーションによる「F12 ベルリネッタ」のプロポーションは、調和とバランスがとれています。正真正銘のフェラーリ12気筒モデルの特徴的な要素をすべて含みつつも、独創的かつ革新的なクーペに仕上がっており、流線型でアグレッシブなラインのボディは、コンパクトなディメンションながら乗員に対して十分な空間と快適さを提供します。

カムテール理論を現代的かつ機能的に再解釈し、ディフューザーの2枚の垂直フェンスをボディにシームレスに統合させた特徴的なリア・スタイルを採用しています。オリジナルのTシェイプには、フルLEDの円形テール・ライトランプとF1にインスパイアされたリア・フォグラмпが配されています。

「F12 ベルリネッタ」には、最新のカーボンセラミック・ブレーキ・システム（CCM3）、さらに進化した磁性流体サスペンション（SCM-E）、最新の電子車輪制御システム（E-diff、ESC、F1-Trac、それにハイパフォーマンスABS）が採用されています。すべての制御は最新の専用ソフトウェアを搭載する1基の高性能CPUによって統合されています。

フィオラーノ・サーキットのラップタイムは1分23秒で、0-100 km/h加速は3.1秒、0-200 km/h加速は8.5秒に達します。「F12 ベルリネッタ」はフェラーリ史上、最もハイパフォーマンスなロードカーとなりました。傑出したパフォーマンスに加えて、敏捷で応答性に優れたハンドリングと比類ないドライビングを、低速域においても提供します。これはサーキットにおいても一般道においても、ミッドリア・エンジン・モデルが本来得意とする領域です。



インテリアも刷新され、ポルトローナフラウのレザーを使用しています。すべての操作系をドライバーの手に届く場所に配置するヒューマン・マシン・インターフェース（HMI）を取り入れた先進技術と、細部に至るまで手作業で設えられた洗練された内装の絶妙なバランスが目を引き、そのどちらもフェラーリ本来のDNAによるものです。インテリア・スペースを最大限に活用すべく最適化されたキャビンは、シート後方にラゲッジスペースが追加され、テールゲートの大きな開口部のおかげで、簡単に手が届きます。ダッシュボードには新たに、航空分野にインスパイアされたカーボン・ファイバーと軽合金製のエア・ベントが配されています。また助手席側のダッシュボードにはオプションのパッセンジャー・ディスプレイを装備できます。

ジュネーブ・モーターショーで発表したもう1台の新型モデルは、30 kgの軽量化と30 CVの出力増を実現した新バージョンの「フェラーリ・カリフォルニア」です。フェラーリ・ブースに展示されているのは、ブルー・スウェイターの外装にグリージョ・アルジェント・ニュルブルクリンクのルーフとサッビアの内装を組み合わせたモデルです。エンジンの最高出力は490 CVを発生します。スカリエッティ・センター・オブ・エクセレンスは最新のアルミニウム製造技術を導入してシャシーを改良し、飛躍的な重量低減を実現しました。その結果、パフォーマンスも向上し、0-100 km/hは3.8秒にまで短縮されています。

さらにダイナミックなドライビング・エクスペリエンスを求めるお客様には、「ハンドリング・スペチアーレ」というオプション・パッケージも開発しました。このオプションは、ボディのローリングを抑え、ドライバーのインプットに対してのレスポンスを高めます。「ハンドリング・スペチアーレ」パッケージには、フェラーリが特許を取得している独自のソフトウエア「ECU」で制御する磁性流体ダンパーが採用され、レスポンス・タイムは50 %短縮されています。また硬めのスプリングを使用し、ステアリング・レシオが10%迅速になった新型ステアリング・ギアボックスも含まれています。

フェラーリのブースには、「F12 ベルリネッタ」と新バージョンの「フェラーリ・カリフォルニア」の他にも、ピアンコ・イタリアの「FF」、ジャッロ・トリストラートの「458 スパイダー」、ロッツ・コルサとネロ・デイトナのツートーンで塗装されたスポーティーな「458 イタリア」も展示されています。

また、ご自身のフェラーリを完全オリジナルに仕立てることをご希望のお客様のために開発した「フェラーリ・テーラーメイド・プログラム」の特別展示エリアも設けています。このエリアでは、素材、カラー、仕上げの選択肢が、フェラーリの伝統と歴史にあったものから、最新のトレンドに至るまで、幅広く取り揃えてあります。テーラーメイド・エリアに展示された「FF」は、三層仕上げによるグリージョ・イングリッド・カラーの外装に、ピンストラップを施したクロス、テスト・ディ・モーロのセミ・アニリン・レザーシート、カシミア・ヘッドライナーとチーク素材のトリミングによるトランクといった、独自のパーソナリゼーションが施されています。

「F12 ベルリネッタ」主要諸元

エンジン

形式	65° V型12気筒
ボア×ストローク	94×75.2 mm
総排気量	6,262 cc
圧縮比	13.5 : 1



最高出力	545 kW (740 CV) / 8,250 rpm
1リッター当たり出力	118 CV/L
最大トルク	690 Nm / 6,000 rpm
最高回転数	8,700 rpm

サイズおよび重量

全長	4,618 mm
全幅	1,942 mm
全高	1,273 mm
ホイールベース	2,720 mm
フロント・トレッド	1,665 mm
リア・トレッド	1,618 mm
乾燥重量*	1,525 kg
車両総重量*	1,630 kg
重量配分	フロント 46%、リア 54%
パワーウェイトレシオ	2.1 kg/CV
燃料タンク容量	92 リットル

ホイール & タイヤ

フロント	255/35 ZR 20 9.5J
リア	315/35 ZR 20 11.5J
フロント (ウィンター・タイヤ)	255/35 ZR 20 9.5J
リア (ウィンター・タイヤ)	305/35 ZR 20 11.5J

カーボン・セラミック・ブレーキ (CCM3)

フロント	398×223×38 mm
リア	360×233×32 mm

電子制御システム

ESC	スタビリティー・コントロール
ハイパフォーマンスABS/EBD	ハイパフォーマンス・アンチロック・ブレーキング・システム (電子制御ブレーキ・バランス調整式)
F1-Trac	F1トラクション・コントロール
E-Diff3	第三世代電子制御ディファレンシャル
SCM-E	磁性流体ダンピング・コントロール (ツイン・ソレノイド)

ギアボックス

F1デュアルクラッチ・トランスミッション、7速

パフォーマンス

最高速度	340 km/h以上
0-100km/h加速	3.1秒
0-200km/h加速	8.5秒

燃料消費とCO₂ 排出 (ECE+EUDC複合サイクル)

燃費**	15 リットル/100 km
CO ₂ 排出量**	350 g/km



*軽量パッケージ（オプション）

**HELEシステム搭載

記録的な数値を達成した2011年度

フェラーリの2011年度決算は、売上高22億5,100万ユーロ（前年比17.3%増）、正規ディーラーネットワークへの販売台数7,195台（前年比9.5%増）、営業利益3億1,240万ユーロ（前年比3.2%増）、そして純利益2億900万ユーロという、前例のない記録を達成し、締めくくりました。さらに、事業活動による純現金においては、7億750万ユーロ、フェラーリのROS（売上高利益率）は14.1%と、またしても自動車部門でトップクラスに入るほどの数値です。

フェラーリは、2011年も研究開発費を含む積極的な投資を行い、その総額は2010年と並ぶ2億7,900万ユーロでした。

地域別の販売台数では、米国は前年比8%増の1,958台と記録的な数値を達成しました。今日においてはフェラーリにおける世界第2位の市場へと成長した大中華圏は前年比62%増の777台で、このうち500台は中国本土での販売が占めています。中東市場も堅調な伸びをみせ、前年比22%増とすばらしい結果となりました。さらに欧州市場は堅調で、イギリスでは前年比23%増の574台、ドイツでは前年比14.6%増の705台という結果になりました。

フェラーリのリテール部門については、世界中で50店舗を展開する「フェラーリ・ストア」の売り上げが前年比34%増となりました。なかでも、フェラーリ初の巨大テーマパーク「フェラーリ・ワールド・アブダビ」にある「フェラーリ・ストア」がまたしても1,250万ユーロ以上という最高売上を記録しています。ライセンス事業部門では、プーマといった国際的なパートナーと複数年契約を更新したほか、高級腕時計ブランドであるHublot（ウブロ、LVMHグループ）とも新たにライセンス契約を締結しました。

フェラーリ・テーラーメイド・プログラム

「フェラーリ・テーラーメイド・プログラム」はユニークな個性と嗜好を反映した真のオーダーメイド・フェラーリを求めるお客様のために、フェラーリが開発したエクスクルーシブな新しいパーソナライゼーション・プログラムです。

この「テーラーメイド・プログラム」は、1950年代から60年代に始まった、フェラーリの伝統を受け継ぐものです。当時から、お客様は自身のフェラーリを当然のようにパーソナライズし、素材から色、仕上げまで、幅広く自由に選び、楽しんでいました。つまり、個々のお客さまの要望に合わせて、本当にユニークな車輦が作られていたのです。

テーラーメイド・プログラムは限られたお客様を対象に、個別のパーソナル・デザイナーがつき、ユニークでありながらフェラーリのブランドと伝統に合致した車に仕上げていくことを目的に導入したものです。車輦の仕様詳細を決定後は、お客様は生産から納車までの段階を常時モニターすることもできます。

「テーラーメイド・プログラム」の基盤となるのは、クリエイティビティ、研究、オリジナル・マテリアル、フェラーリ独自のクラフトマンシップ、そして完璧なディテールです。今回は、お客様のライフスタイルにあわせて、フェラーリのDNAを代表する3つのコレクション



ン、「Scuderia（スクーデリア）」、「Classica（クラシカ）」、「Inedita（インエディタ）」を用意しました。

この「テーラーメイド・プログラム」の一環として、お客様はマラネッロに招待されます。オートクチュールのスタジオのような専用のアトリエで、用意された多数の素材、仕上げ、カラーサンプル、ブローシャーなどを見ながら、オーダー前の車輛の外観とフィーリングをイメージすることができ、さらに素材スキャナーを使って、最終の仕上がりをプレビューすることも可能です。

フェラーリに関する最新情報はFerrari.com（日本語版）よりご覧いただけます。
<http://www.ferrari.com/Japanese>

画像および映像は、フェラーリ・メディアサイト（英語/イタリア語）からダウンロードいただけます。なお、メディアサイトのご利用には、ユーザー登録が必要です。
閲覧および登録申請はこちらから：<http://www.media.ferrari.com>

【お問い合わせ先】

フェラーリ・ジャパン コミュニケーション

TEL : 03-6890-6200（代表）

TEL : 03-6890-6211（直通）

FAX : 03-6890-6201

E-mail : media.japan@ferrari.com

Facebook : <http://www.facebook.com/FerrariJapan>